

松下 冽 教授 略歴・主要著作目録

略 歴

- 1966年3月 東京都立文京高等学校 卒業
- 1966年4月 早稲田大学第一法学部 入学
- 1970年3月 早稲田大学第一法学部 卒業
- 1975年4月 明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻博士前期課程 入学
- 1977年3月 明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻博士前期課程 修了
- 1977年4月 明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻博士後期課程 入学
- 1979年7月 日墨政府交換留学生
- Facultad de Ciencias Políticas y Sociales, Universidad Nacional Autónoma de México 所属（～1980年5月）
- 1985年3月 明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻博士後期課程 満期退学

職 歴

- 1985年4月 法政大学社会学部非常勤講師（～1990年3月）
- 1985年4月 横浜国立大学教育学部非常勤講師（～1990年3月）
- 1985年7月 札幌学院大学人文学部非常勤講師（集中講義）
- 1986年6月 一橋大学社会学部非常勤講師（～1991年3月）
- 1986年6月 明治大学政治経済学部非常勤講師（～1991年3月）
- 明治大学理工学部非常勤講師（～1990年3月）
- 明治大学理工学部非常勤講師（～1990年3月）
- 1988年4月 津田塾大学国際関係学科非常勤講師（～1989年3月）
- 1989年4月 都留文科大学社会科非常勤講師（～1990年3月）
- 1989年4月 國學院大学文学部非常勤講師（～1990年3月）
- 1990年4月 和歌山大学教育学部助教授（～1995年3月）
- 1992年8月 名古屋大学法学部非常勤講師（集中講義）

1992年9月	山口大学教養部非常勤講師（集中講義）
1994年7月	高知短期大学非常勤講師（集中講義）
1995年4月	和歌山大学教育学部教授（～1997年3月）
1995年4月	Facultad de Ciencias Políticas y Sociales, Universidad Nacional Autónoma de México 客員教授（～1995年7月）
1997年4月	立命館大学国際関係学部教授（～現在）
1997年4月	名古屋大学大学院国際開発研究科非常勤講師（～1998年3月）
2002年9月	School of Social Science, Sussex University 客員研究員（～2003年9月）
2008年9月	Centro de Análisis de Seguridad, Universidad de Granada 客員研究員（～2009年3月）

研究業績

【単著】

- 『現代ラテンアメリカの社会と政治』日本経済評論社，1993年3月
- 『途上国の試練と挑戦——新自由主義を超えて——』ミネルヴァ書房，2007年9月
- 『現代メキシコの国家と政治——グローバル化と市民社会の交差から——』御茶の水書房，2010年3月
- 『グローバル・サウスにおける重層のガバナンス構築——参加・民主主義・社会運動——』ミネルヴァ書房，2012年10月

【共・編著】

- 『第三世界への視点』（共著），大月書店，1982年3月
- 『現代世界の政治体制』（共著），青木書店，1984年4月
- 『ラテンアメリカの世界』（共著），大月書店，1984年10月
- 『戦後世界史（上）』（共著），大月書店，1988年12月
- 『戦後世界史（下）』（共著），大月書店，1989年1月
- 『第三世界の開発と独裁』（共著），大月書店，1989年1月
- 『今日の国際経済』（共著），青木書店，1989年5月
- 『現代世界と国民国家の将来』（共著），御茶の水書房，1990年2月
- 『21世紀の第三世界』（共著），大月書店，1991年2月
- 『アジアの人びとを知る本（第4巻：支配する人びと）』（編著），大月書店，1992年7月

- 『第三世界への視点（新版）』（共著），大月書店，1992年9月
- 『現代政治の体制と運動』（『講座現代の政治学』第2巻）（共著），青木書店，1994年3月
- 『クリティック国際関係学』（共著）東信堂，2001年4月
- 『現代歴史学の成果と課題Ⅱ 1980-2000 ——国家像・社会像の変貌——』（共著，歴史学研究会編）青木書店，2003年2月
- 『新しい公共性：そのフロンティア』（共著）有斐閣，2003年3月
- 『統合と分離の国際政治経済学—グローバル化の現代的位相』（共著）ナカニシヤ出版，2004年4月
- 『グローバル化時代の政治学』（共著）法律文化社，2008年4月
- 『途上国社会の現在——国家・開発・市民社会——』（編著）法律文化社，2006年2月
- 『グローバル化とリージョナル化』（共編著）御茶の水書房，2009年3月
- 『エティック国際関係』（共著）東信堂，2011年3月
- 『新自由主義に揺れるグローバル・サウス』（共編著）ミネルヴァ書房，2012年10月

【学術論文】

- 「ペルーの『近代化』とアプリスト党の形成（1）」（『月刊アジア・アフリカ研究』第195号，1977年7月）
- 「ペルーの『近代化』とアプリスト党の形成（2）」（『月刊アジア・アフリカ研究』第196号，1977年8月）
- 「ペルーの『近代化』とアプリスト党の形成（3）」（『月刊アジア・アフリカ研究』第197号，1977年9月）
- 「中米・カリブの動き」（『国際年報』第20巻，1982年10月）
- 「メキシコにおける国家と労働運動の一考察——1933～36年を中心にして——」（『月刊アジア・アフリカ研究』第261号，1983年1月）
- 「70年代メキシコの政治危機と政治改革」（『月刊アジア・アフリカ研究』第263号，1983年1月）
- 「転換期のメキシコ——1970年代のメキシコ社会の変容と国家——」（『月刊アジア・アフリカ研究』第295/296号，1985年11月）
- 「ラテンアメリカ：80年代の転換から——中米危機と民政移管についてのノート——」（『アジア・アフリカ研究』第304号，1987年4月）
- 「第三世界における民主主義と開発——ポスト冷戦時代の民主主義をめぐる一断面——」（『和歌山大学教育学部紀要』47集，1997年2月）
- “La sociedad mexicana vista desde el modelo asiático: posibilidades de desarrollo económico”, *Revista de Humanidades*, No.3, 1997. (スペイン語)

- 「90年代メキシコの政治研究動向（1）——現代メキシコの体制移行に関する議論」（『アジア・アフリカ研究』340号，1996年）
- 「メキシコ官僚制試論——メキシコの社会変動とテクノクラート——」（『政経論叢』第65巻5/6号，1997年3月）
- 「グローバリゼーションとメキシコ権力構造の再編——官僚機構のテクノクラート化をめぐる——」（『政策科学』8巻3号，2001年2月）
- 「メキシコにおける公共空間の創出と新しい社会運動——1985～1995年を中心にして——」（『立命館大学人文科学研究所紀要』第77号，2001年9月）
- 「メキシコにおけるネオリベラリズムと市民社会の交差——全国連帯計画（PRONASOL）をめぐる——」（『立命館国際研究』第14巻2号，2001年10月）
- “A Theory of International Relations in the Era of Globalization”, *Ritsumeikan Journal of International Relations and Area Studies*, Vol.20, March 2002.
- 「現代メキシコの選挙動向と政党システムの再編——サリーナス政権における選挙プロセスを中心に——（上）」（『立命館国際研究』15巻1号，2002年6月）
- 「現代メキシコの選挙動向と政党システムの再編——サリーナス政権における選挙プロセスを中心に——（下）」（『立命館国際研究』15巻2号，2002年10月）
- 「ネオリベラル・グローバリズムと反グローバリズムを超えて——途上国の参加と民主主義の視点から（上）——」（『立命館国際研究』第16巻2号，2003年10月）
- 「ネオリベラル・グローバリズムと反グローバリズムを超えて——途上国の参加と民主主義の視点から（下）——」（『立命館国際研究』第16巻3号，2004年3月）
- 「グローバル化時代における国民国家変容の一断面（上）——「失敗国家」・「崩壊国家」試論——」（『アジア・アフリカ研究』第44巻，3号，2004年7月）
- 「グローバル化時代における国民国家変容の一断面（下）——「失敗国家」・「崩壊国家」試論——」（『アジア・アフリカ研究』第44巻，4号，2004年10月）
- 「発展途上国における国家の可能性再考（上）——「国家－開発－市民社会」の新たなトライアド関係構築の視点から——」（『立命館国際研究』第17巻3号，2005年3月）
- 「発展途上国における国家の可能性再考（中）——「国家－開発－市民社会」の新たなトライアド関係構築の視点から——」（『立命館国際研究』第18巻2号，2005年10月）
- 「発展途上国における「下からのグローバリゼーション」——インドとブラジルにおける参加と民主主義の実験——」（『長崎平和研究』第21号，2006年）
- 「ブラジルにおける参加・民主主義・権力——労働者党とローカル政府への参加政策——」（『立命館国際研究』18巻3号，2006年3月）
- 「発展途上国における国家の可能性再考（下）——「国家－開発－市民社会」の新たなトラ

- 「イアッド関係構築の視点から——」（『立命館国際研究』19巻1号，2006年6月）
- 「ポスト新自由主義へ向かうラテンアメリカ」（『季刊現代の理論』，Vol.10，2007年1月）
- 「脱権威主義に向かうメキシコ —— 『政治空間としての分権化』 ——」（『立命館国際研究』20巻1号，2007年6月）
- 「グローバル・サウスにおけるローカル・ガバナンスと民主主義——参加型制度構築の視点と現状——」（『立命館国際研究』20巻3号，2008年3月）
- 「メキシコ農村から見た NAFTA の軌跡と現実（上）——農村の貧困化とトルティーリャ危機——」（『アジア・アフリカ研究』第1号，2008年1月）
- 「メキシコ農村から見た NAFTA の軌跡と現実（下）——農村の貧困化とトルティーリャ危機——」（『アジア・アフリカ研究』第2号，2008年4月）
- 「グローバル・サウスはグローバル化を飼い馴らせるか（上）——試論：グローバル／リージョナル／ローカルの重層のガバナンス」（『立命館国際研究』21巻3号，2009年3月）
- 「グローバル・サウスはグローバル化を飼い馴らせるか（下）——試論：グローバル／リージョナル／ローカルの重層のガバナンス」，『立命館国際研究』22巻1号，2009年6月）
- 「ラテンアメリカの現状と国際政治——ポスト新自由主義と重層化する域内政治——」（『季刊現代の理論』，Vol.20，2009年7月）
- 「民主的移行期における「国家－社会」関係変容の側面——サリーナス政権期のローカル政治を中心に（上）——」（『立命館国際研究』22巻1号，2009年10月）
- 「民主的移行期における「国家－社会」関係変容の側面——サリーナス政権期のローカル政治を中心に（下）——」（『立命館国際研究』22巻3号，2010年3月）
- 「民主的ローカル・ガバナンスとシナジー型「国家－市民社会——インド・ケーララ州が提起する課題」関係（上）——」（『立命館国際研究』23巻2号，2010年10月）
- 「民主的ローカル・ガバナンスとシナジー型「国家－市民社会」関係（下）——インド・ケーララ州が提起する課題——」（『立命館国際研究』第23巻3号，2011年3月）
- 「民主主義の民主化と越境する市民社会社会運動」（佐藤 誠他編『エティック国際関係』東信堂，2011年3月）
- “Beyond the Neoliberal Globalization: Reflections on Democratizing Democracy and the Multilayered Structure of Governance”，（『立命館国際研究』第24巻1号，2011年7月）
- 「インド・ケーララにおけるガバナンス構築と社会運動（上）——「政治社会－市民社会」関係の視点から——」（『アジア・アフリカ研究』第51巻第2号，2011年4月）
- 「インド・ケーララにおけるガバナンス構築と社会運動（中）——「政治社会－市民社会」関係の視点から——」（『アジア・アフリカ研究』第51巻第4号，2011年10月）
- 「インド・ケーララにおけるガバナンス構築と社会運動（下）——「政治社会－市民社会」

- 関係の視点から——」（『アジア・アフリカ研究』第52巻第1号，2012年1月）
- 「グローバル・サウスを見るひとつの視点」（藤田和子／松下冽編著『新自由主義に揺れるグローバル・サウス』ミネルヴァ書房，2012年10月）
- 「グローバル・サウスにおけるガヴァナンス構築——民主主義と社会運動の視点から——」（藤田和子／松下冽編著『新自由主義に揺れるグローバル・サウス』ミネルヴァ書房，2012年10月）

【その他の論文】

- 「メキシコ資本主義の確立と労働運動—カルデナス政権期の労働運動：その歴史的意義と限界—」（『明治大学大学院起要』1981年2月）
- 「ラテンアメリカにおけるポピュリズムの一考察—カルデナスモとの関係を中心に—」（『明治大学大学院起要』1982年2月）
- 「第三世界における国家研究についてのノート——C.Y. Thomasの議論から——」（『アジア・アフリカ研究』第312号，1989年4月）
- 「『国際化』時代の労働運動」（『くれない』1000号記念号，1994年4月）
- Tendencia académica sobre “la transición de régimen” en México*（研究報告書，UNAM 学術交流課に提出，1995年11月）
- 「メキシコとブラジルにおけるローカルな共有型分権化モデルの新たな実験」（平成16年度～18年度科学研究費補助金研究成果報告書（基礎研究C），2007年3月）

【書評・その他】

- 「E. ガレアーノ著『収奪された大地』」（『アジア・アフリカ研究』第302号，1986年秋季号）
- 「松下 洋著『ペロニズム・権威主義と従属』」（『歴史学研究』第508号，1988年5月）
- 「新藤道弘『現代キューバ経済史』」（『アジア・アフリカ研究』第41巻第1号，2001年1月）
- 「ラテン・アメリカ」（『史学雑誌』第110編第5号，2001年5月）
- 「楽園メヒコ，その未来」（『TRANSIT』第11号，講談社，2010年12月）

【翻訳】

- S. ポチャタリョフ「メキシコ型開発モデル：国家と国内大資本との関係」（『月刊アジア・アフリカ研究』第256号，1982年8月）
- スペイン社会主義労働者党『スペイン社会党選挙綱領〔I〕』（『現代社会主義研究』第45号，1983年3月）
- スペイン社会主義労働者党『スペイン社会党選挙綱領〔II〕』（『現代社会主義研究』第47号，1983年5月）

スペイン社会主義労働者党『スペイン社会党選挙綱領〔Ⅲ〕』（『現代社会主義研究』第48号，1983年6月）

A.Romero Castilla, V.López Villafane, coordinadores, *Japón Hoy*, Siglo XXI, 1988（スペイン語訳協力）

ジェームズ・ミッテルマン著『グローバル化シンドローム—変容と抵抗—』（共訳，法政大学出版社，2002年6月）

アントニー・マッグルー編『変容する民主主義：グローバル化のなかで』（監訳，日本経済評論社，2003年11月）

グレグ・グランディン著『帝国のワークショップ——米国のラテンアメリカ・中東政策と新自由主義の深層——』（監訳，明石書店，2008年6月）

ダニエル・アーキブージ『グローバル化時代の市民像——コスモポリタン民主政へ向けて——』（共訳，法律文化社，2010年11月）

【その他の執筆】

『社会・労働運動大年表』労働旬報社，1987年（ラテンアメリカ解説事項執筆，年表作成）

『現代用語の基礎知識』自由国民社，1989年（「中南米問題用語の解説」分担執筆）

【学会発表 / 講演会】

「グローバリゼーションと『国民性』の再構築——ラテンアメリカの現在——」（立命館大学国際地域研究所・中部大学国際地域研究所，1998年12月5日，名古屋市栄ガスビル）

「グローバリゼーションと対峙するラテンアメリカ」（長崎平和文化研究所，2005年10月7日）

「ネオリベラル型グローバリズムと反グローバリズムを超えて」（長崎平和研究講座，2005年10月8日）

「ラテンアメリカと新自由主義——その起源からポスト新自由主義まで，そしてメキシコの位置——」（東アジア地域研究，2008年6月14日，京都大学）

「国際政治とラテンアメリカの新しい流れ」（立命館大阪オフィス講座，2009年11月18日，立命館大阪オフィス）

「新自由主義・NAFTAとメキシコ農村の貧困化」（アジア・アフリカ研究所／基礎理論研究会合同シンポジウム，2009年7月18日，京都大学法経学部）

「途上国は新自由主義型グローバル化を超えられるか——途上国研究の課題——」（『アジア・アフリカ研究所創立50周年記念シンポジウム——今，AALAをどうとらえるか——』2011年5月21日，明治大学リバティータワー）

「グローバル化時代における途上国の現在と可能性——国家・開発・市民社会——」（立命館大

阪オフィス講座, 2011年11月9日, 立命館大阪オフィス)

<その他講演会>

立命館大学土曜講座 (1993年7月3日)

新宮市市民大学「公開講座」(1993年11月13日, 12月4日, 12月25日, 1994年1月22日)

和歌山市女性市民講座 (1993年12月18日)

海南市市民講座 (1994年6月)

平和を願う和歌山市民集会での講演 (1996年2月5日)

札幌国際連帯研究会第14回講座 (1996年10月5日)

【所属学会その他社会活動】

日本政治学会

日本国際政治学会

日本平和学会

Confines (モンテレイ工科大学発行の国際関係・政治学雑誌) の日本代表編集委員 (2005年5月～現在)

NPO 法人アジア・アフリカ研究所・代表理事 (2012年6月～)